

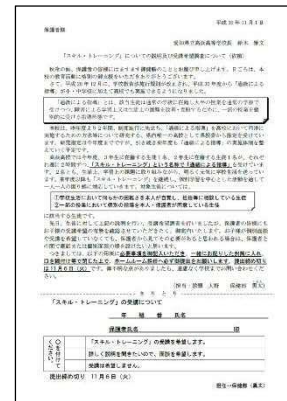
高等学校における通級による指導【愛知県立高浜高等学校モデル】

スキル・トレーニングとは

- ▶愛知県立高浜高等学校では、通級による指導を「スキル・トレーニング」という名称で実施しています。
- ▶学習や生活において困難を抱える生徒に寄り添い、就労を見据え、生徒が自らの抱える困難さを改善・克服し、もてる力を高め発揮しながら生活するためのスキルを身に付けさせたいと考え、「スキル・トレーニング」という名称にしました。
- ▶自校通級とし、平成29・30年度ともに2名ずつが受講しています。

受講者の決定

- ▶通級による指導の概要をまとめた案内文書を作成し、全ての生徒・保護者に配付します。
- ▶受講希望調査票を全ての生徒に配付し、受講希望の有無について調査します。
- ▶受講を希望する生徒、必要に応じてその保護者と面談を実施し、「スキル・トレーニング」の目的や内容、評価等について説明します。
- ▶保護者の了承のもと、必要に応じて発達検査を実施し、生徒の実態把握に役立てます。



指導体制

- ▶平成29・30年度は、県立特別支援学校との人事交流により赴任した教員を中心に指導しています。
- ▶チーム・ティーチングでの指導を基本とし、多くの教員が「スキル・トレーニング」に関わるようにしています。

教育課程上の位置付け

- ▶第2・3学年において、以下の選択可能な設定科目に新たに「スキル・トレーニング」を加え、受講者は「スキル・トレーニング」を選択することとしました。
【第2学年】〈普通科〉英語表現Ⅰ、古典A、古典B、スキル・トレーニング
〈福祉科〉数学A、スキル・トレーニング
【第3学年】〈普通科〉英語表現A、古典B、スキル・トレーニング
〈福祉科〉生物基礎、スキル・トレーニング
- ▶第2・3学年ともに、授業時数は年間70時間とし、単位数は2単位とします。
- ▶第1学年については、必修科目がほとんどで授業時間内に位置付けることが難しいことから、受講希望があった場合、授業後に設定します。
(年間35時間、1単位)



指導内容

- ▶「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編（幼稚園部・小学部・中学部）」を参考にし、生徒の実態、本人・保護者の願い等を勘案しながら個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成します。
- ▶個別の指導計画に基づき指導を行います。

<1時間の活動例>

- ① 挨拶 【ソーシャルスキルの基礎の育成】
 - ・姿勢・発声に注意する。
- ② 前時の振り返りと本時の学習活動の確認 【音読能力の育成】
 - ・前時のワークシートに記載された教師のコメントを音読する。
 - ・本時の学習活動についてワークシートを音読する。
- ③ 発声トレーニングと電子図書の音読 【腹式呼吸を意識した発声方法の獲得】
 - ・腹式呼吸の仕方を確認する。
 - ・母音を一語一息で発声する。
 - ・返事をし、タブレット型端末のアプリケーションで発声を振り返る。
 - ・電子図書を音読する。
- ④ コロブスの伝記を読んで パート2 【文章の音声化スキルの獲得】
【メモを取りながら聞く力の獲得】
【コミュニケーション能力の育成】
 - ・タブレット型端末のアプリケーションを操作して、テキストを音声化する。
 - ・音声化された物語を聞き、メモを取りながら内容理解に努める。
 - ・メモを基に物語の内容を教師に伝える。
 - ・教師とのやりとりを通して内容理解を深める。
 - ・感想を書く。
- ⑤ 挨拶 【ソーシャルスキルの基礎の育成】

教職員間の連携と専門性の向上

- ▶月1回、「指導運営委員会」を開催し、「スキル・トレーニング」の実施方法や学習内容及び評価等について検討します。
【参加者】校長、教頭、通級による指導担当教員、養護教諭
特別支援教育コーディネーター、学年主任、ホームルーム担任
- ▶学期に1回程度、全教職員を対象とした研修会を開催し、「通級による指導」「自立活動」「本校におけるスキル・トレーニング」等について共通理解を図ったり、外部講師を招いて特別支援教育に関する専門性の向上を図ったりしています。
- ▶月1回程度、「通級だより」を教職員向けに発行し、「スキル・トレーニング」の様子や生徒の成長等について周知しています。
- ▶高浜市立高浜中学校と連携して授業研究を行い、指導方法を研究しています。

